

丹波篠山市立西紀中学校 学習や生活に関する学力向上プラン【第2学年】

【調査結果の概要】

全体的な状況

- ・市の学力調査では、国語・数学ともに全国平均値と同程度でした。
- ・生活状況調査では、ほとんどの項目で全国を上回っており、特に「学級の絆」、「社会参画」、「充実感と向上心」のカテゴリーにおいて肯定的な回答が高く、クラスの良いところやクラスメイトの良いところを見つめられている生徒が多いことが分かりました。
- ・「充実感と向上心」の項目で「勉強やスポーツ、習いごと、趣味などで、今がんばっていることがありますか」という質問について、すべての生徒が肯定的な回答をしており、自分なりの目標ややりがいを意識して生活できていることが分かります。

課題と対応

国語 書く力を育むことで伸ばす読解力の育成

- ・市の学力調査において、教科全体の正答率が全国平均値と同程度でした。観点別にみると「知識・技能」が全国値を上回り、良好です。項目領域別に見ると「読むこと」「話すこと・聞くこと」に課題があることが明らかになりました。特に、段落相互の関係を捉える問題についての正答率が低かったため、今後の取り組みとして、普段の授業や生活の中で文章の構成や展開など、文章の形式についても、根拠を明確にして考えさせ、説明的な文章の学習を工夫していきます。授業では、特定の事柄の内容とそこから考えたことを分けて発表させたり書かせたりすることを意識して指導していきます。

数学 言葉や記号で説明する記述力・表現力の育成

- ・「関数」の正答率が全国平均値を5.2ポイント上回りました。一方で、「数と式」「図形」「データの活用」は全国平均と同程度でした。特に、比例式を解くこと、相対度数を求めること、図形の回転移動の条件を記述することなど、知識を活用して論理的に説明・表現する問題に課題が見られます。今後は「理由や手順を言葉や記号で説明する表現力の育成」を指導の柱とし、関数の概念や図形の移動条件を論理的に説明・記述させる活動を普段の授業に取り入れ、基礎の定着にとどまらない「活用力（思考力・表現力）」の向上を図っていきます。

学習・生活習慣 自他の尊重と規範意識の育成

- ・市の調査結果から、全国を上回ったカテゴリーがほとんどでした。その中でも上位の3カテゴリーは「学級の絆」、「社会参画」、「充実感と向上心」で、下位の3カテゴリーは「いじめのサイン」、「学級の規範意識」、「対人ストレス」でした。自他の違いや個性を認め、多様な生き方を尊重することで、人権侵害につながる行為を見抜き、支え合える雰囲気づくりを普段の学校生活から培っていきたいと考えます。

【保護者・校区の方へのお願い】

調査結果から、生徒たちの変化・成長を見受けることができました。更なる向上のため、保護者の皆様には家庭での生活・学習習慣確立の支援をお願いします。中学生になると生活が多様化し、時間の使い方や優先順位づけがこれまで以上に大切になってきます。家庭学習を充実させるためには「勉強しやすい環境づくり」「デジタル機器のルール確認」等が効果的です。子どもたちの健やかな成長を支えられるよう、今後とも西紀中学校の教育活動にご理解ご協力をお願いいたします。